青髭八人目の妻（1938）

BLUEBEARD'S EIGHTH WIFE

メディア 映画
ジャンル コメディ
製作国 アメリカ
色彩 B&W
時間 80分
初公開日 1939/05
公開情報 劇場公開

【解説】

フランスはリヴィエラ。パジャマの上だけ欲しいとデパートの店員と押し問答しているアメリカの大富豪ブランドン氏（クーパー）は、下の方を買おうと申し出た若い娘ニコル（コルベール）に一目惚れしてしまう。ホテルでは、ブランドンにルイ１４世の使ったバスタブを売りつけようとする貴族ロワゼール（ホートン）が待っていたが、彼こそニコルの父親だった。ブランドンは果敢にニコルを口説き、やがて二人の結婚が決定。だが、式当日、ブランドンに先妻が７人もいる事を知ったニコルの怒りは爆発、ケンカの勢いから慰謝料を１０万ドルに取り決めて、そのまま夫婦となる。案の定、名ばかりの結婚生活が始まり、心底ニコルを愛しているのに彼女が応じてくれないためブランドンの心労はたまっていく……。Ｃ・ブラケットとＢ・ワイルダーの脚本で面白くならない訳もなく、特に序盤の段取りのうまさはルビッチのテンポ良い演出もあって快調。二人が結婚してからの後半がチョイともたつく感もあるが、全体的にはコメディとして充分過ぎる点数を稼いでいる。ニコルの男友達役で、まだ若いＤ・ニーヴンが出演しており、今とは逆にまるで頼りにならない三枚目を演じているのもお楽しみ。

【クレジット】

監督	エルンスト・ルビッチ	Ernst Lubitsch
製作	エルンスト・ルビッチ	Ernst Lubitsch
原作	アルフレッド・サヴォアール	
脚本	チャールズ・ブラケット	Charles Brackett
	ビリー・ワイルダー	Billy Wilder
撮影	レオ・トーヴァー	Leo Tover
音楽	ウェルナー・リヒャルト・ハイマン	Werner Richard Heymann
出演	クローデット・コルベール	Claudette Colbert
	ゲイリー・クーパー	Gary Cooper
	デヴィッド・ニーヴン	David Niven
	エドワード・エヴェレット・ホートン	Edward Everett Horton
	エリザベス・パターソン	Elizabeth Patterson
	ハーマン・ビング	Herman Bing

このデータベースのデータおよび解説文等の権利はすべて株式会社スティングレイが所有しています 。
データ及び解説文、画像等の無断転用を一切禁じます。 Copyright (C) 2024 Stingray. All Rights Reserved.